

□ 校訓

進んで考え がんばろう

□ 教育目標

豊かな心を持ち、知・徳・体の調和のとれた実践力のある子どもを育てる。

□ 平成23年度 教育指導の計画

	重 点	具 体 的 方 策
学校経営 の重点	意欲的に学ぶ心豊かな 児童を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に真剣に取り組み、学び合う児童を育てる。</li> <li>・ファミリー活動などを通して、目標をもつことや、なかまの大切さを学ぶ。</li> <li>・自ら体力づくりを進め、健康・安全に関心をもつ、児童を育てる。</li> <li>・PTA、ボランティア、敬老会などの協力を生かして、教育活動をすすめる。</li> </ul>
学習指導 の重点 (教科指導)	自ら学び考えようとする児童 を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学ぼうとする意欲を引き出すために、問題解決学習や体験的学習を行うなどの工夫をする。</li> <li>・児童の実態を把握し、個に応じた指導など、日々の指導に生かす。</li> <li>・学習指導計画に基づき計画的に学習を進め、指導法や教材教具の工夫に努める。</li> <li>・児童の読む力を伸ばすための指導を工夫する。</li> </ul>
(道徳)	思いやりのある豊かな心を育 てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間の確保と内容の充実を図る。</li> <li>・自己を振り返る場を設定する。</li> </ul>
(特別活動)	よりよい学校(学級)づくりを めざして、意欲的に実践する 児童を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級目標達成に向けて、係活動や朝の会帰りの会などの学級活動の内容を工夫する。</li> <li>・よりよい学校(学級)づくりをめざした、話し合い活動の充実を図る。</li> <li>・児童会活動、委員会活動、ファミリー活動で、児童が主体的に活動する手立てを工夫する。</li> </ul>
(総合 外国語)	探究的な学習を通し、問題を 解決する能力や主体的・創造 的に取り組む態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における全教育活動と相互に関連付け、身につけた知識や技能が総合的に働くような活動を工夫する。</li> <li>・コミュニケーション力を育む外国語活動の充実を図る。</li> <li>・学習指導材や資料の収集・整理に努める。</li> </ul>
生活指導 の重点	望ましい生活習慣を身につけ、 自ら考えて行動できる児童を 育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態を共通理解する場を設け、指導に生かす。</li> <li>・“名前を書く日”などを活用し、持ち物の大切さがわかるように指導する。</li> <li>・児童が安全な学校生活を送ることができるように強調週間だけでなく普段から指導する。</li> <li>・安全について理解を深め、自ら安全に行動できる資質や能力を養うように指導を工夫する。</li> </ul>
保健管理 指導の重点	健康で安全な生活を送るため の、よい習慣を身につけよう とする児童を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健だより」「給食だより」で保護者に啓発する。</li> <li>・健康週間の設定や健康委員会の働きかけを通して、自らすすんで健康づくりに努められるようにする。</li> <li>・食育、給食委員会の活動を通して、食への関心を高める。</li> <li>・新体力テストの結果等で、子どもの実態を把握し、子どもの体力向上に生かす。</li> </ul>
研修の 重点	「読む力を伸ばす」取り組みを 中心に、授業研究・研究会・研 修会などを通して、資質の向上 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究会や校内研修を計画的に実施し、資質の向上に努める。</li> <li>・教育センター等が開催する研修会に計画的に参加できる校内体制を整える。</li> <li>・研究・研修の成果を児童の指導に生かす。</li> </ul>
学校の特色 ・実態に応 じた課題	一人一人の個性に応じた支援あ る特別支援教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよし連絡会(校内委員会)、個別のケース会議を定期的に設定し、保護者と支援者の連携と共通理解を深める。</li> <li>・児童の特性把握に努め、個に応じた支援を工夫する。</li> <li>・教育支援計画の整備、個別の指導計画を作成し、教職員間で共通理解・活用を図る。</li> </ul>